

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【公開番号】特開 2004-337591 (P2004-337591A)  
 【公開日】平成 16 年 12 月 2 日 (2004.12.2)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-047  
 【出願番号】特願 2004-41794 (P2004-41794)  
 【国際特許分類】

**A 6 1 B      6/00      (2006.01)**  
**G 0 1 T      1/00      (2006.01)**  
**G 0 6 T      1/00      (2006.01)**  
**G 0 6 T      3/20      (2006.01)**  
**G 0 6 T      3/60      (2006.01)**  
**G 0 6 T      5/50      (2006.01)**

【F I】

A 6 1 B      6/00      3 6 0 Z  
 G 0 1 T      1/00              B  
 G 0 6 T      1/00      5 0 0 A  
 G 0 6 T      3/20  
 G 0 6 T      3/60  
 G 0 6 T      5/50

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 1 月 16 日 (2007.1.16)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

デジタル信号表現により表現された放射線写真画像の配向を決定する方法に於いて、該方法が、前記デジタル信号表現の種々の基準実体に対する数学的積率が計算されること、そして前記放射線写真画像の配向に関する決定が該計算された積率（含む複数）の極値（最大値、最小値）に基づいて得られることを特徴とする該方法。

【請求項 2】

前記積率は直交座標の積率であり、該直交座標積率は少なくとも 1 つの空間的座標  $x$  又は  $y$  の関数により該デジタル信号表現を重み付けしていることを特徴とする請求項 1 の方法。

【請求項 3】

デジタル信号表現により表現された画像内の対象を望まれる配向内に配向する方法に於いて、該方法が

- 基準実体に対する前記対象の配向を導出する過程と、
- 前記対象の該デジタル信号表現を前記望まれる配向を生じる配向修正用幾何学的変換に供する過程とを具備することを特徴とする該方法。